

工芸 市展賞
流れに誘われ

藍は私にとっていやしの色です。体調を崩して気分がふさがちだった私を、自然と藍染めの藍がいやししてくれました。

この作品は、その自然である千代川の流れを織り上げたもので、静かな流れから始まり、格子模様の砂丘



鳥取市浜坂四丁目
ひらい つるこ
平井 鶴子さん



で終わります。人と触れ合うことで人生は豊かになります。糸も紡がれ、人の目に触れることで命が吹き込まれるように思います。ですから、自分の作品を観ても、自ら機会をこれからも作っていききたいです。



日本画 市展賞
ばらの詩



八頭町門尾
きたがわ すみえ
北川 澄江さん

以前は水墨画を描いていましたが、大好きな花を描きたくて、色彩の美しい日本画を始めました。

この絵はツルバラの可憐な美しさに魅せられて描きましたが、朝のさわやかな感じを表現するのに苦勞し、改めて描くことの難しさを感じました。

これからも自然の美しさに感動しながら、楽しい、夢のある作品を描いていきたいです。

入賞作品紹介

編集後記

◆報われることがあるから、がんばれるのかもれない…。「手づくり梨工房」のお母さんたちを取材させていただいてそう感じました。彼女たちが作っている梨シャーベットは、梨作り農家の苦勞や努力に報いる大きな役目をもった商品です。佐治の梨に対する思いが彼女たちの原動力。また、市報を編集するものにとって、「読んでるよ」の一言に報われ勇気づけられています。(Y)

◆例年より1週間ほど遅く満開となった桜を家族で楽しもうと、手作り弁当を持って久松公園へ。綺麗な桜と美味しい弁当でこころもお腹も一杯になったところで、何年ぶりに久松山に登った。息も絶え絶え登っていると下山している人からすれ違いざまに「こんにちは、頑張ってくださいよ」と声を掛けられ、思わず「ありがとうございます」と…。なんだか懐かしいようなうれしい気持ちがおみあげできた。やっとの思いで頂上に着き、その眺めは爽快! そして、ちょっとしたあいさつの中に、忘れかけていた人と触れ合いに気分サイコー! 有意義な1日でした。(康)

「とっとり市報」について、ご意見ご感想をお寄せください。

〒680-8571 市役所本庁舎秘書課広報室
☎(0857) 20-3159
☎(0857) 21-1594
eメール kouhou@city.tottori.tottori.jp



一口メモ

にんじんの千切りを入れて炊くと、彩りがきれいになり、美味しさが増します。

材料 (4人分)

米	2合
もち米	0.2合
いがい	200g
水	180cc
ゆで汁	〃
酒	36cc
濃い口しょうゆ	18cc
薄口しょうゆ	〃
砂糖	適量

いがい飯

食



青谷町支部食生活改善推進員のみなさん

1. 分量の米を研ぐ。
2. 殻付きのいがいをよく洗ってからゆで、貝の口が開いたら火を止め、殻から身はずし、ヒゲの部分を取り除く。
3. ゆで汁は漉して、冷ましておく。
4. 炊飯器に米を入れ、分量のゆで汁と調味料を加えて30分程度置き、適当な大きさに切ったいがいを入れて炊く。

※いがいの塩分によって味が変わるので、しょうゆは控えめにしながら味を調整。

1人分 エネルギー 122kcal、カルシウム 26mg、たんぱく質 4.4g、脂質 5.4g、塩分 1.1g、鉄 0.5mg